

2014年7月

No.14-094a(全)※1

「ABC分類(ABCD判定)」専用報告書 運用開始に伴う検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では胃の健康度を調べる「ABC分類」検査を受託しておりますが、当該検査の委託先より、新たに「D判定」を加えた専用の「ABC分類検査報告書」を下記期日よりご提供させていただくとの連絡がございました。

D判定は従来のC判定区分をより細分化したもので、胃の健康度をA、B、C、Dの4つのリスク群に分類し、このリスク群に応じた検診間隔を設定することで、さらに効率的な検診を行うために有用です。

また、報告する分類コメントなどの検査要項が変更となりますので、併せてご案内させていただきます。

宜しくご利用を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

●[セットコード 0019] ABC 分類

報告区分	新コメント	旧コメント
分類	A 群 同右	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます
	B 群 同右	少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
	C 群 弱った胃です。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。	弱った胃の可能性があります。 内視鏡による定期的検査をお勧めします。
	D 群 かなり弱った胃です。 かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。	弱った胃の可能性が高いと思われます。 内視鏡による定期的検査をお勧めします。

[ご注意] ※ ABC分類(ABCD判定)の依頼項目は下記の通りです。

・ペプシノゲン《ラテックス凝集比濁法》・ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG《EIA》・ABCD分類

※ 当該検査はセット検査として運用させていただきます。依頼書でご依頼の際は、[セットコード 0019]ABC分類をご記入下さい。

※ ABC 分類(ABCD 判定)の判定基準は裏面をご参照下さい。

■報告開始日

2014年7月31日(木)受付日分より

以上

■ABC分類のABCD判定基準

【判定基準】

		HP抗体価検査	
		陰性(-)	陽性(+)
PG検査	陰性(-)	A	B
	陽性(+)	D	C

【新・胃の健康度】

A群	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
B群	少し弱った胃です。 胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
C群	弱った胃です。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。
D群	かなり弱った胃です。 かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

■ABC分類検査報告書(見本)

[表面]

A B C 分類検査報告書			
検体名			
受検者名	姓	年齢	性別
例：田中	55歳	年	男
性別	年齢	年	月
年齢	月	日	
ABC D 分類判定結果			
あなたの胃の状態			
A群 健康な胃	B群 少し弱った胃	C群 弱った胃	D群 かなり弱った胃
コメント			
ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果			
検査項目	検査	検査項目	検査 検定値
ペプシノゲン	ペプシノゲン	ヘリコバクター・ピロリ抗体	10U/mL未満
基準値			
ペプシノゲン検査結果			
ペプシノゲン I	検定値	検定値	基準値
ペプシノゲン II			
ペプシノゲン I /ペプシノゲン II 比			
基準値	ペプシノゲン I : 70.1ng/mL以上またはペプシノゲン I /II 比 : 3.1以上		
参考値			
検査実施施設			
検査実施者			
株式会社LSIメディエンス インフォメーション 受検者番号: 000-0004-2111			

[裏面]

あなたの「胃の健康度」は 血液でチェックすることができます！			
Aタイプ	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。 ただし、逆流性食道炎には注意しましょう。		
Bタイプ	少し弱った胃粘膜です。 胃がんなどの病気になりやすいタイプです。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。		
Cタイプ	弱った胃粘膜です。 胃がんなどの病気になりやすいタイプです。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。		
Dタイプ	かなり弱った胃粘膜です。 胃がんなどの病気になるリスクがあります。 かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。		
ペプシノゲン検査	「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の老化（萎縮）を客観的に調べる検査です。		
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないか調べる検査です。 感染している人すべてが胃の病気になるわけではありません。		

※縮小して掲載しています。